

大京都 2020 in 和東

地域の魅力を
アートの視点から

参加アーティスト ARTISTS
渋田 薫 SHIBUTA Kaoru
嶋田 晃士 SHIMADA Kohshi
牧嶋 平 MAKISHIMA Osamu
リヴァ・クリストフ RIVA Christophe

ゲストアーティスト GUEST ARTIST
Yukawa-Nakayasu

未開へのわだち

Ruts to the
new uncivilization

未開へのわだち Ruts to the new uncivilization

自然-人工物の境界は、様々な力学によってゆらいている。未開墾地を開拓する者、山中に修行場をおく山岳信仰、そして自然災害。既に開拓された場所を往来する私たちの行動は、境界を越境することのない社会循環をトレースし続けている。

聖武天皇時代に開拓された^{くにきょう}恭仁京東北道以前の^{しんざんゆうすい}深山幽邃な気配と共に、境界の残像をのこす和東町。

アーティストは自生の草や茶を手がかりに、ときに身体感覚を風景や気配にフローさせながら、この土地にある「人の営み」「自然に存在する他の種」「認識不可能な不可視な存在」までも拙くも引き寄せ、境界を中和し未開へのわだちを描きはじめる。

自然と人工物がハイブリットし未知の領域を限りなく開拓しつづける社会の流れに、私たちはいる。

この流れの中、心身ともに粗野な感情をかきたてる境界や未開の地はどこにあるのだろうか?この疑問が既成概念や価値基準を融解し、私たちの内なる野生を明滅させるきっかけとなるかもしれない。

Yukawa-Nakayasu

京都府では、アーティストが地域交流しながら創作活動を行うことで地域住民に幅広い文化芸術に触れる機会を提供し、地域の活性化へ繋げる取組としてアーティスト・イン・レジデンス事業「京都:Re-Search」を実施し、地域が本来持ち得ているポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出すことを試んでいます。今年度は、2019年度に行った「京都:Re-Search 2019 in 和東」でのリサーチをもとに、アーティストによる地域の新しいアートドキュメント(=記録)を作成する『大京都2020 in 和東』を開催します。

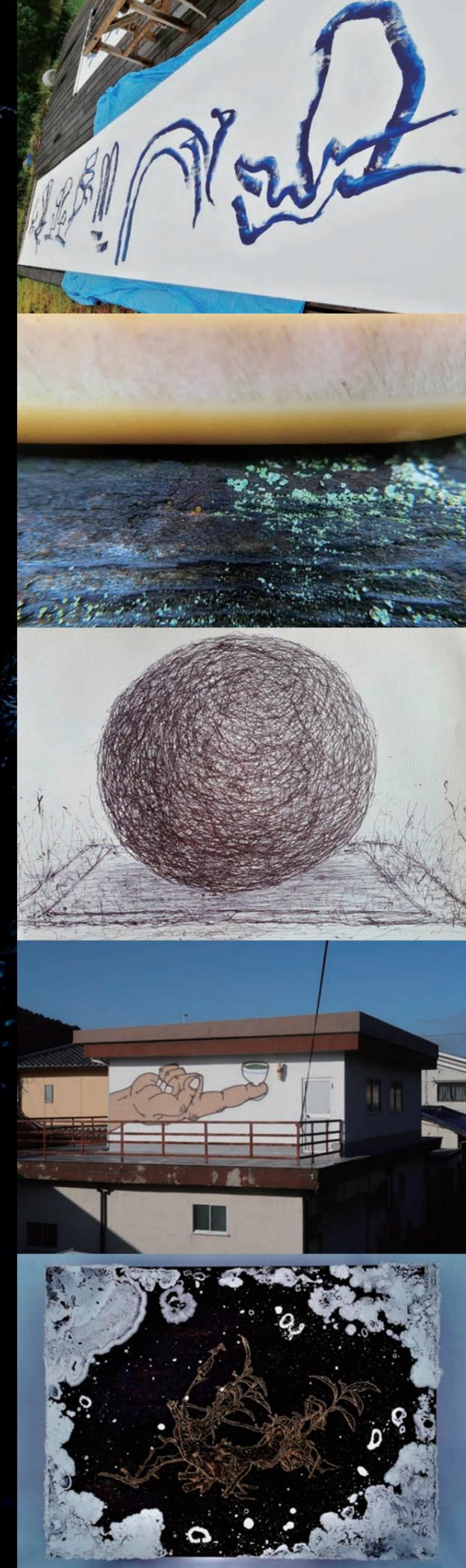
参加アーティストは、「京都:Re-Search 2019 in 和東」への参加アーティスト4名と、昨年度講師として招き、和東を共にリサーチしたYukawa-Nakayasuをゲストアーティストに迎え、約2ヶ月におよぶ滞在制作と、そのプロセスを和東町内各所で公開し発表します。

ご来場の皆さまへ(新型コロナウイルス感染拡大防止のために)

- マスクを着用の上、互いの距離を1~2m程度の距離をあけてください。
- 発熱等の症状がある方はご来場をお控えください。
- なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により実施内容を変更する場合があります。ご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、入場制限等を行う場合があります。

問合せ先 京都:Re-Search実行委員会 事務局
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町
京都府文化スポーツ部文化芸術課内
電話番号 075-414-4279 Eメール bungei@pref.kyoto.lg.jp
ウェブサイト <http://kyoto-research.com/>

※発表期間内の展示・パフォーマンス・ワークショップなどの開催場所・時間・申し込み方法等詳細は、ウェブサイトやSNSにて随時発表していきます。



2020年10月30日(金) - 11月1日(日) | 11月6日(金) - 8日(日) | 11月13日(金) - 15日(日) | 10:00 - 17:00
(株)すぎもと 倉庫・空き店舗 | 手づくり工房 茶房 桶力 | 京都おぶぶ茶苑 | FUKUTYAN HOUSE | 創造工房 自由庵

入場無料 | 協力:(株)すぎもと、(有)北午木材、京都おぶぶ茶苑

京都:Re-Search実行委員会(京都府、和東町 ほか)
ウェブサイト <http://kyoto-research.com/>

Facebook www.facebook.com/air.kyoto.re.search
Instagram @daikyoto

表紙写真: ©Yukawa-Nakayasu

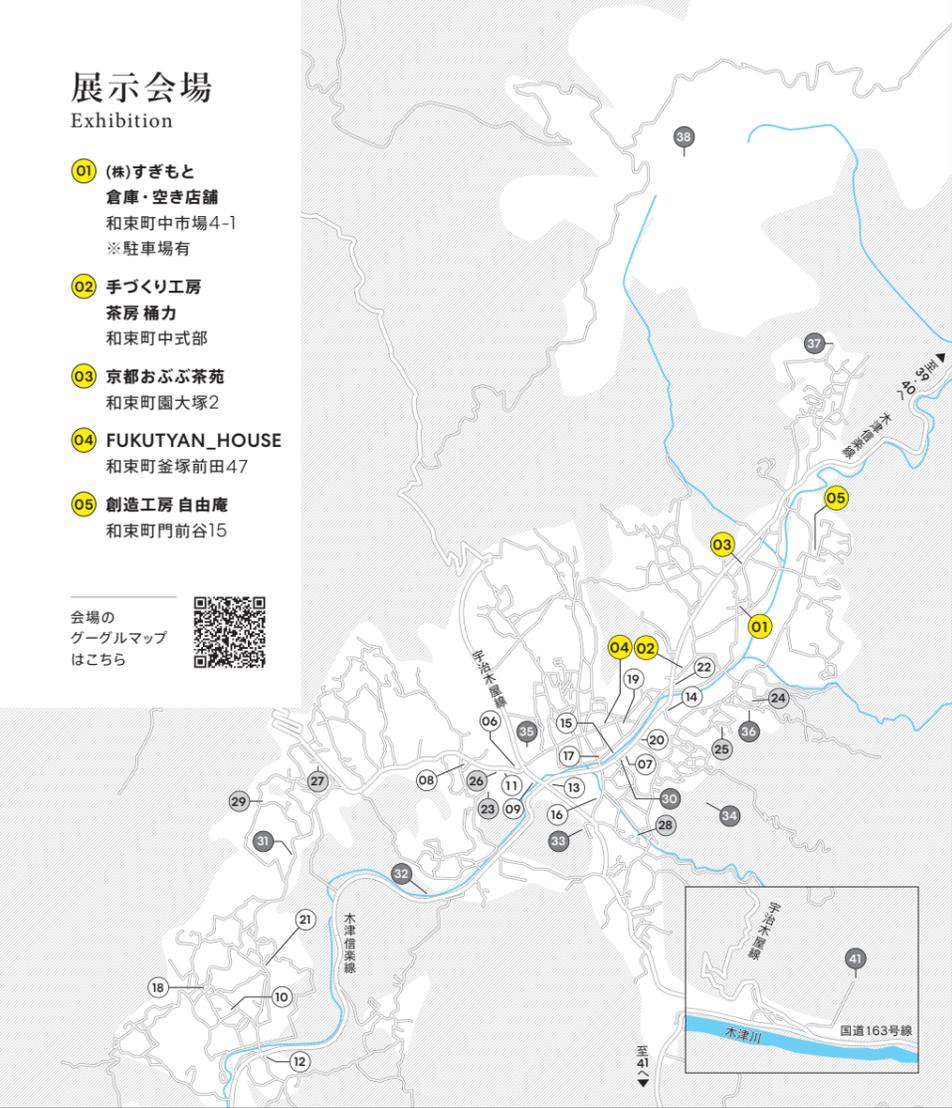


令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

展示会場 Exhibition

- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗
和東町中市場4-1
※駐車場有
- 02 手づくり工房
茶房 桶力
和東町中式部
- 03 京都おぶぶ茶苑
和東町園大塚2
- 04 FUKUTYAN_HOUSE
和東町釜塚前田47
- 05 創造工房 自由庵
和東町門前谷15

会場の
ゲーグルマップ
はこちら



食べる Food

- 06 和東茶カフェ
カフェ・お土産処
時間 10:00-17:00
日=9:00-
定休 会期中無休
TEL 0774-78-4180
- 07 d:matcha Kyoto
CAFE&KITCHEN
カフェ・ランチ・パン
時間 11:00-16:00
定休 水・木
TEL 0774-74-8205
- 08 寿司・和食 たくみ
和食
時間 10:30-18:30
予約に合わせて
最大21:00まで
定休 火
TEL 0774-78-5088
- 09 和東茶屋 山基
カフェ・甘味処
時間 10:00-17:00
定休 水
TEL 0774-66-7722
- 10 石田長栄堂
和菓子
時間 10:00-18:00
定休 不定休
TEL 0774-78-2023

- 11 cafe & ランチ 和花
ランチ
時間 11:45-14:00
定休 通常日・祝
11-2月 土・日・祝
TEL 0774-78-3817
- 12 魚忠
居酒屋
時間 17:00-
定休 水・不定休
TEL 0774-78-3703
- 13 居酒屋 さくら
ランチ・居酒屋
時間 11:30-14:00、
18:00-23:00
定休 土・日
TEL 0774-78-5157
- 14 来てね
居酒屋
時間 17:30-23:00
定休 水
TEL 080-5303-4087
- 15 お好み焼き たんぼぼ
時間 11:30-21:00
定休 月
TEL 0774-78-2445
- 16 和所 美土里屋
和菓子
時間 9:00-18:00
定休 火
TEL 0774-78-2064

- 17 山のパン かくれんぼ
和菓子
時間 10:00-17:00
電話予約制
定休 月・水・木
TEL 080-3859-2465
- 18 竹谷酒店
酒類・たばこ小売
時間 8:00-19:00
定休 不定休
TEL 0774-78-2341
- 19 スーパーカネタ・和城
小売・仕出し
時間 9:00-18:00
定休 日・祝
TEL 0774-78-2130

- 20 TSUNAGIBACAFE
ツナギバ・カフェ
カフェ・軽食
時間 7:00-14:00
定休 火・水・金・土
- 21 dandancafe
カフェ・ランチ
時間 10:00-16:00
定休 火・水
- 22 お好み焼き えっちゃん
時間 17:00-21:00
定休 火

泊まる Stay

- 23 京都和東荘
飲食もあり、要予約
住所 和東町白栢
猪ヶ口25-5
TEL 0774-78-2603
- 24 農家民宿 えめとえめ
ランチもあり、要予約
住所 和東町中菅谷30
TEL 080-3867-8884

観光 Sightseeing

- 30 和東町観光案内所
住所 和東町釜塚京町19
TEL 0774-78-0300
※レンタサイクルあり
- 31 撰原(松尾)の茶畑
住所 和東町白栢留見
- 32 弥勒唐崖仏
住所 和東町白栢長井
- 33 正法寺
住所 和東町
南下河原71

- 34 釜塚の茶畑
住所 和東町釜塚
風呂谷28
- 35 安積親王陵墓
住所 和東町白栢
- 36 八坂神社の大杉
住所 和東町中大杉6
- 37 原山の茶畑
円形茶畑
住所 和東町原山上手8
- 38 鷲峰山金胎寺
住所 和東町
原山鷲峰山

- 39 湯船森林公園/
湯船 MTB LAND
住所 和東町
湯船敷田103-1
- 40 なごみの湖
湯船森林公園
フィッシングエリア
住所 和東町湯船赤岩
- 41 不動の滝
住所 和東町木屋立花

- 25 BLODGE LODGE
ランチもあり、要予約
住所 和東町中古京37
TEL 0774-46-9441
- 26 農家民宿 はがくれ
住所 和東町白栢
大狭間13
TEL 0774-78-3817
- 27 農家民宿 駕庵
住所 和東町
白栢中谷20
TEL 080-3470-5530

- 28 農家民宿
風和里(ふわり)
住所 和東町南大林11/
TEL 090-5252-8115
(西中)
- 29 農家民宿 茶畑 なごみ
住所 和東町白栢向山
TEL 0774-78-3129

プログラム・イベント

展示ツアー
日時 11月8日(日) 13:00-
ゲスト 鷲田めるろ(十和田市現代美術館館長)

福岡久園×渋田薫
会場 すぎもと邸インフォメーション内、
福岡久園ホームページ内
web fukuokakyuen.official.ec
会期中、7種の荒茶のイメージに合わせた絵画を展示

周辺でのイベント

オンラインだよ 茶源郷まつり
日時 メイン期間=10月31日(土)・11月1日(日)
配信期間=10月1日(木)-11月30日(月)
※オンラインイベント

京都きつ川 アクティビティキャンペーン2020
日時 10月3日(土) - 11月29日(日)
会期中各土日祝
会場 和東町・笠置町・南山城村各所

**Coupe du Japon International
Yubune Stage 湯船 MTB 国際**
日時 11月1日(日)
会場 39 湯船 MTB LAND

茶源郷和東フォト&スケッチコンテスト
日時 11月7日(土) - 11月8日(日)
会場 グリンティ和東

参加アーティスト ARTISTS



渋田 薫
SHIBUTA
Kaoru

- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗
- 02 手づくり工房 茶房 桶力
- 05 創造工房 自由庵



嶋田 晃士
SHIMADA
Kohshi

- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗

ゲストアーティスト GUEST ARTIST

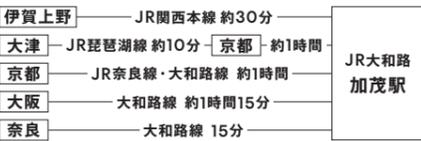


Yukawa-Nakayasu
アーティスト

1981年大阪府生まれ。歴史や習俗や習慣をもとに、社会や身体、日常に内在している営みや現象を視覚化する作品を制作。2018年にThe 12th Arte Laguna Prize 大賞受賞(Arsenale, ヴェネツィア)、2017年に『Japanese Connections』(Nikolaj Kunsthal, コペンハーゲン)など。近年では、2019年からアートハブTRA-TRAVELの共同代表を務め、2020年『ポストLCC時代の』(京都芸術センター、京都)とキュレーションを手がける。

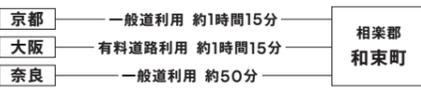
- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗

電車でのアクセス



※加茂駅から和東町内へはバス(約30分)をご利用ください。

車でアクセスと駐車場



※展示会場周辺の駐車場をご利用下さい。

《組曲》

身近な物事に和東の心を再発見。原山からの眺めを感じることからリサーチを始め、町を歩くと生き生きとしたものに会いました。整った茶畑から飛び出る新芽、子どもの歌声、アスファルトを突き破る雑草、猿の群れ、町の人々の暖かさ。この経験を元にオーケストラの楽曲のように4つの絵画、『Back to the nature』『New green leaves』『Monkey time』『Tenor』を制作しました。

アーティスト。1980年北海道生まれ。音楽、自然音のリサーチを元に共感的に絵画へ変換する。これまでにエリザベスジョーンズアートセンター、バルセロナ芸術文化センター、サンタモニカ美術館、ロシア国立現代アートセンターで滞在制作発表を行っている。The 14th Arte Laguna Prize特別賞(Arsenal, ヴェネツィア)。近年の主な企画展に『Virtual Artists Trail』(Sydenham Arts, ロンドン)、『After Greed Became Form』(White Rectangle Gallery, ロンドン)等。

《クラスの外側(仮)》

茶の木は元来自然物である。人間がそれに意味を与えることで「茶」としての価値や基準を仮象している。しかし和東の中には人間が手を加えたものとは別に野生化した「茶」が点在している。人間の価値基準の外にある「それ」はただそこにある。一方、人間が作り出した「物」には必然性がある。それらはある必要性のもとに作られているからだ。では使われなくなった物はどうか。それらは元々の価値から離れ、ただそこにある。これらを見つめている時、私の持つ価値観や帰属感というのが揺らぐのを感じた。私達は常にある側面を無視することで社会を形成しているからかもしれない。

アーティスト。1981年京都府生まれ。美術大学在学中に「音」を用いた表現に興味を持ち、サウンド・スカルプチャーを制作する。その後、「音」をメインに扱いながらも、複合的にメディアを用いた作品を制作するようになる。自分自身と現実との関係を俯瞰したいと思い、しばしば電子機器やコンピューターを作品に取り入れている。近年ではスマートフォンやデジタル信号等を用いながら、身の回りにある情報を捉え直した作品の制作、発表を行っている。



牧嶋 平
MAKISHIMA
Osamu

- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗



**リヴァ・
クリストフ**
RIVA Christophe

- 01 (株)すぎもと
倉庫・空き店舗
- 02 手づくり工房 茶房 桶力
- 03 京都おぶぶ茶苑
- 04 FUKUTYAN_HOUSE

イベントゲスト EVENT GUEST



イベント名
展示ツアー
日時
11月8日(日) 13:00-

《草玉を燃す》

人は「草刈り」をして生きている。町に住み、そこで働き、土や草に触れなくても、その生活全体は「草刈り」である。目の前の日常を黙々と、戸惑い喜びながら、草刈りのように続けていく。それが生活の条件であり、かけがえのないもの、不毛なことである。長野県に叔父が残した家がある。父を中心に家族は、20年以上、その空き家の管理を続けてきた。季節ごとに帰省し、墓や庭の草を刈り、そして燃やす。その繰り返しも、叔父の死に対する戸惑いも、気づけばひとつの景色となった。私もまた「草刈り」をしている。町に住み、そこで働き、何かを作ろうとして作れない生活もまた「草刈り」である。それは戸惑いであり、不毛であり、かけがえのないことである。刈っても刈っても生活は続く。恨めしさも、愛おしさも終わらない。その繰り返しを玉にして、自ら、まるごと燃やす。

アーティスト。1986年埼玉県生まれ。京都市立芸術大学大学院構想設計領域在籍。旅先や日常でのささやかな気づきを手掛かりにインスタレーションを制作。

《筋トレde和東》

この地に滞在し始めてから、様々な出来事があった。人との出会い、何気ない意味深な会話、高いところに登って描く壁画、夜道で穴に落ち足を怪我をするなど。これらの体験は自分にとってどれ一つ欠かせない大切なものであり、今の自分や作家としての態度などを改めて考えさせられるきっかけとなった。日々何かを勉強しアウトプットするレジデンス生活は、アーティストになるためのトレーニングだ。

画家。1993年大阪府生まれ。日本・フランス・中国、多様な文化圏で培った、ユーモア溢れるグラフィティと漫画の表現をするアーティスト。クリストフの作品の多くには、躍動感溢れるタッチで人間が異なるものにトランスフォームする姿が描かれる。それは多文化化する時代に、既存の言語や文化の枠組みで補いきれないコミュニケーションの為に生まれた、独自の視覚言語を作り出す試みである。

鷲田めるろ
WASHIDA Meruro

十和田市現代美術館館長・キュレーター

1973年京都府生まれ。東京大学大学院美術史学専攻修士課程修了。1999年から2018年まで金沢21世紀美術館キュレーターを務め、妹島和世+西沢立衛/SANAA、アトリエ・ワン、島袋道浩、坂野充学などの個展のほか、「金沢アートプラットフォーム2008」「3.11以後の建築」(起点としての80年代)などのグループ展を手がけた。また、2017年には「第57回ヴェネチア・ビエンナーレ」日本館キュレーターとして岩崎貴宏の個展を企画。2018年4月よりフリーランスで活動し、あいちトリエンナーレ2019にはキュレーターとして参加した。2020年4月より十和田市現代美術館館長。

アクセスマップ

